



大阪の 社会福祉

The social welfare in OSAKA



▲大正区 泉尾東地域の宿題カフェ終了後の一枚

2・3面

大正区 活動者の広げ方のススメ8

地域活動に携わっているからこそ出会える方、できる経験がある魅力

車いすの知人と、大阪市美術館で行われていた国宝展を見に行った。すごい人出で、車いすで十分展示を見ることのできるかと心配したが、人は展示に夢中だから、こちらが気を付けていないとぶつかる。「ごめんなさい」を言い続けるのは嫌だなと思って、なるべく人ごみの中に入らないようにすることが第一歩▼それでも、展示を見ながら横に移動する人たちの中で、車いすは横には動けないので、多少はぶつかる。ぶつかってくる。「ごめんなさい」より「すみません」程度の謝罪は言った方がいいなと思った▼混雑の中でもちゃんと気づいて、自分からよけてくれる人もいて、これは「ありがとう」を言った▼ほとんどの展示物ではすぐ近くに寄ることは難しかったが、「ごめんなさい」「すみません」「ありがとう」を言い続けて、それなりに楽しむことはできた。ときどき誰もいないところもあって、展示の仏様に感謝だ▼美術館側に少し配慮してほしいと思ったのは説明文。後ろからだと前にいる人の頭に隠れるし、文字が小さすぎて、車いすからはほとんど見えなかった▼車いすの人も見に来るということを知り、鑑賞する人にも美術館にもちよつと意識してほしいと思った。(石)



車いすの知人と、大阪市美術館で行われていた国宝展を見に行った。すごい人出で、車いすで十分展示を見ることのできるかと心配したが、人は展示に夢中だから、こちらが気を付けていないとぶつかる。「ごめんなさい」を言い続けるのは嫌だなと思って、なるべく人ごみの中に入らないようにすることが第一歩▼それでも、展示を見ながら横に移動する人たちの中で、車いすは横には動けないので、多少はぶつかる。ぶつかってくる。「ごめんなさい」より「すみません」程度の謝罪は言った方がいいなと思った▼混雑の中でもちゃんと気づいて、自分からよけてくれる人もいて、これは「ありがとう」を言った▼ほとんどの展示物ではすぐ近くに寄ることは難しかったが、「ごめんなさい」「すみません」「ありがとう」を言い続けて、それなりに楽しむことはできた。ときどき誰もいないところもあって、展示の仏様に感謝だ▼美術館側に少し配慮してほしいと思ったのは説明文。後ろからだと前にいる人の頭に隠れるし、文字が小さすぎて、車いすからはほとんど見えなかった▼車いすの人も見に来るということを知り、鑑賞する人にも美術館にもちよつと意識してほしいと思った。(石)



活動者の広げ方のススメ8

地域活動に携わっているからこそ出会える方、
できる経験がある魅力

新たな担い手の発掘をめざして、市内各区・地域の工夫をこらした取組みを紹介しています。（「活動者の広げ方のススメ1〜7」は、令和6年1〜4、7、11、令和7年2月号に掲載）

今回は、大正区泉尾東地域社会福祉協議会の会長を務める山本文雄^{ふみお}さんに地域での取組みや思い、今後の活動の担い手づくりを広げていくための工夫などについて、お聞きしました。

あわせて、当地域の取組みの一つで、5月18日に開催された「宿題カフェ」に訪問し、活動者の小松真里さんと向井信子さんにも活動するうえで大切にしていることや今後の展開などについてお聞きしました。

泉尾東地域は、大正区の北東部、国道43号線の南側に位置しています。令和2年度国勢調査によると、当地域の人口は8,481人です。

相手の話は最後まで聞き、 自分の思いを伝えて 共感を得る

地域活動を始めるに至った
きっかけについて教えてください

山本 地域活動に携わるようになつたのは、父親がもともと活動しており、そのまま受け継ぐことになったのがきっかけです。

現在は、地域社会福祉協議会



▲泉尾東地域社会福祉協議会会長の山本さん

長年、地域で活動していることから、活動の魅力や活動力について教えてください。

山本 長年地域で活動していますが、いろいろな活動に関わっている中で、書類作成もあり、忙しくて大変です。昔は夜中に電話がかかってきて暴言を吐かれたり、私の力ではどうにもならないものもあり、どうしたらいいものなのかと考えていたことは懐かしい思い出です（笑）

（以下、地域社協）やまちづくり実行委員会、大正区民生委員児童委員協議会などの会長をはじめ、保護司や総務省行政相談委員等の活動もしています。

ただ、さまざまな活動に関わっていたからこそ、出会うことができた方が多くおり、このつながりは財産となっています。また、人前で話す機会やICTを学ぶ機会もあったりと、貴重な経験ができています。

活動するなかで、大切にしていることや意識していることを教えてください。

山本 活動するうえで大切にしていることは、自分の思いが伝わるように伝えることです。また、一人ではできないことに限界があるので、協力していただけるよう、自分が見本となるように意識して行動しています。

特に、令和2年に会館の建て替え工事をする事になり、ご

理解いただけるよう地域会議などで、自分の思いも込めて説明しました。その結果、協力者を得ることもつながりました。

ほかでは、傾聴も大切にしています。できること、できないことがありますが、頭ごなしに否定するのではなく、相手が言っていることを最後まで聞くように努めています。

最後に泉尾東地域、ひいては大正区が、どのようなまちになってほしいと考えますか？

山本 やはり、ここに住んでよかったと思ってもらえるよう、ええまち大正“にしていきたいです。そのためには、地域活動を継続・推進していく必要があります



▲建て替えた会館前のスペースでオープンテラス席をつくってのふれあい喫茶

泉尾東地域の主な活動（一部）

- ・高齢者食事サービス ・ふれあい喫茶
- ・百歳体操 ・子育てサークル
- ・防災関連事業 ・敬老お祝い会
- ・子どもフェスタ ・スポーツ交流会
- ・地域清掃活動 ・年末夜警
- ・子ども見守り隊活動

が、担い手を広げていくことが課題となります。地域社協の活動に限らず、民生委員・児童委員や保護司などでも困っている現状です。

任意の活動ですので、なかなか難しいですが、活動に携わることでの魅力、思いを知ってもらえるよう伝えることが重要かと思っています。小学校に行つて、大人になったら地域活動に関わりたいと感じてもらえるよう、こどもたちへ話したこともあります。

また、しほりをきつくしないこと、上から物を言わないこと、できる時に少しでも活動していただくなど、試行錯誤しながら活動の担い手を広げていきたいと思っています。

それぞれが自由に 楽しく過ごせる場

宿題カフェは、毎月第3日曜日に泉尾東福祉会館にて、小学生を対象とし、午前10時から午後2時まで開設していることも居場所づくりの取組みです。取材当日は約50人の参加がありましたが、過去一番多かった時では70人を超える参加があったとのこと。

参加したこどもたちは、学校の宿題をする子、ゲームや会館

前のスペースで鬼ごっこをして遊ぶ子、工作等のレクリエーションを楽しむ子など、それぞれが楽しいひと時を過ごしていました。お昼には、活動者の方々が手作りの食事を提供しており、取材当日のメニューは肉じゃが、小松菜とツナの炒め物、大根とポテトチップスのサラダ、シロナの味噌汁でした。

運営では、女性部などの地域活動者、ボランティア、同地域にある福祉施設の職員などが協力



▲宿題カフェ活動者の方々(小松さん:後列一番左、向井さん:前列一番左)



▲学校の宿題を終わらせて、遊びに熱中しました

して活動しています。

この取組みは、平成30年から活動していますが、最初はこどもたちへ情報が届いていなかったことから、活動者がのびりを持つて公園等を回り、こどもたちを誘って集めていたこともありました。学校でチラシの配付や町会掲示板へのポスター掲示、泉尾東e回覧での発信をおこない、保護者や地域の方々へ広く周知しています。

参加者から活動者として 帰れる居場所

活動者の小松さんは、「この活動は、学年が違うこどもたちが交流できる機会にもなっています。また、いろいろな助成金や食料の寄附をいただけるよう、申請して活動の継続につなげていきます。お金や物資の確保も必要ですが、今後も活動を継続していくためには、活動者を増やしていく工夫が重要です。ただ、こどもの活動であるため、誰でもといかず、この活動に参加したこ

どもたちが卒業して中学生、高校生、大学生と大きくなった時に、お手伝いで参加してくれれば、うれしいなと思っています」と話しました。

続けて小松さんは、「会館は民家に囲まれているため、こどもたちの元気な声をご近所に迷惑をかけることもありますので、『声のボリューム下げて』などの声かけをしています。こどもなので、さまざまなことがあります。守ってほしいルールを伝えつつ、こどもたちと毎月楽しく奮闘しています」と語りました。

反対にこどもたちから パワーをもらえる場

同じく活動者の向井さんは、「こどもたちはパワフルでにぎやかなので、大変で疲れますが、活動者のみなさんやこどもたちと関わって楽しいですし、こども



▲「美味しい!」「野菜苦手」と笑顔で正直に感想を伝えるこどもたち

活動者を広げていくためのポイント

思いを伝えることで共感を得て、同志を集める

- 頭ごなしに否定するのではなく、相手の話を最後まで聞き、自分の思いが伝わるように伝える
- 協力者を得て、仲間を増やし、一緒にすすめる

活動に関わりたと思ってもらえるよう発信し、未来の担い手づくりにもつなげる

- 活動に関わることで得れる魅力を発信していく
- こどもたちが将来、活動者として関わりたいと思ってもらえるよう伝える

たちの成長を間近で見ることができる喜びがあるので、活動のモチベーションアップにつながっています。活動する際には、毎回保険をかけていますが、幸いにもまだ現在のところは、大きなケガをすることもは出ていません」と話しました。

また、向井さんは、「個人的に泉尾東地域は、一人つ子のこどもが増えていると感じています。学年が違う年上・年下と関わることで、同い年ではない人との接し方を学ぶ機会にもなっています。今後は、そうめん流しや水遊びなど、こどもたちに何がしたいかを聞きながら、こどもたちが喜ぶことを続けていきたいです」と述べました。



大阪市在住の65歳以上の方対象!

令和7年4月から活動場所が拡充となり 障がい児者施設や幼稚園でも活動可能

大阪市介護予防ポイント事業は、高齢者の外出の機会の増加や生きがいづくり、介護予防を目的に、研修を受けて登録した65歳以上の方が、受入登録施設で活動しています。

令和7年4月から受入施設が拡充され、障がい児者施設、幼稚園でも活動ができるようになりました。自分らしさを活かした活動で、「元気」と一緒にポイントを貯めてみませんか?

活動を始めたい!

大阪市内在住の65歳以上の方へ

ちょっとしたお手伝いや趣味・特技を活かした活動で活躍しませんか?

まずは、登録時研修をご受講ください。

ポイントについて	2時間未満の活動	1ポイント	換金は1ポイント 100円 ※6ポイントから換金可能
	2時間以上の活動	2ポイント	

登録時研修日程

日時	場所
7/17(木) 午後2時～3時30分	東淀川区社会福祉協議会 (東淀川区菅原4-4-37)
7/24(木) 午後2時～3時30分	西成区社会福祉協議会 (西成区岸里1-5-20 西成区合同庁舎8階)
7/30(水) 午後2時～3時30分	東住吉区社会福祉協議会 (東住吉区田辺2-10-18)
9/5(金) 午後2時～4時	生野区社会福祉協議会 (生野区勝山北3-13-20)
9/9(火) 午後2時～3時30分	旭区社会福祉協議会 (旭区高殿6-16-1)
9/11(木) 午後2時～3時30分	都島区社会福祉協議会 (都島区都島本通3-12-31)

※以降の日程でも開催を予定しています。詳しくはお問合せください。

活動者を受入りたい!

まだ登録されていない施設の方へ

本来のサービスを手厚く提供できたり、活動者が架け橋となって地域とのつながりができたり、施設側のメリットも数多くあります。

ぜひ、受入施設としてご登録ください。

<介護保険施設、事業所、障がい者施設での活動>

お話相手、配膳の手伝い、食器洗い、楽器の演奏、レクリエーションのお手伝い、お掃除、洗濯物たたみ など

<保育所・幼稚園・認定こども園・障がい児施設での活動>

行事・遊びのお手伝い、配膳の準備、食器洗い、園庭の手入れ、送迎の際の見守り など

問合せ・申込み

大阪市社会福祉協議会 福祉部

介護予防ポイント事業担当

☎ 06-6765-5610

✉ kypoint@osaka-sishakyo.jp

🌐 <https://www.osaka-sishakyo.jp/kaigoyobou/>



令和7年度

赤い羽根共同募金記念バッジデザインは

応募作品444点の中から 大阪府内の高校生の作品に決定

10月1日から全国で実施する第79回赤い羽根共同募金運動で使用される記念バッジのデザインが決定しました。近畿6府県(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)共同募金会が合同で募集。444点の応募作品の中から、選考委員会の審査の結果、赤い羽根賞(最優秀賞:採用作品)1点、愛ちゃん賞(優秀賞)5点、希望くん賞(奨励賞)20点を決定いたしました。

採用されたデザインによって製作した記念バッジは、今年度の共同募金運動期間中に、共同募金に協力いただいた方へのお礼や、共同募金をPRするためなどに、近畿6府県を中心に広く活用されます。

赤い羽根賞(最優秀賞:採用作品)



に い あかり
仁井紅里さん(大阪府・高校生)

制作意図 | 誰かの優しさが風と共に幸せを運びますように

愛ちゃん賞(優秀賞)・希望くん賞(奨励賞)

受賞者・受賞作品については、大阪府共同募金会のホームページに掲載いたします。

ホームページ【赤い羽根おおさか】

🌐 <https://akaihane-osaka.or.jp>